

防災対策、新型コロナ対策などで要望・意見相次ぐ 市議会主催の意見交換会など開催

19日から24日にかけて市議会主催の市民との意見交換会が市内4会場で開催され、大島区と大湊区での会に参加してきました。また、これとは別に上野市議が22日、独自に希望館で開催した「ざっくばらんにトーク」にも参加してきました。

新型コロナ対策のこともあってこれまで、議会関連のこうした会はなかなか開けませんでしたが、そうしたなか、いずれの会場も3密を避ける工夫や対策をとっての開催となりました。

大島区の会では、約20人が参加。

●消火栓のホース格納庫やホースは市の予算で対応してもらえない。市で予

算をつけてほしい。

●消防団への負担金は町内会で2000円、地区で1000円になる。市内各地で格差があるのではないかと議論はされているか。格差は解消してもらいたい。

●大山温泉あさひ荘は今年あたり解体するのではという声も出ている。有効利用する道はないのか、などの発言が出ました。

大湊区の会では、約30人が参加。

●市の防災対策の姿勢をどう評価しているか。

●水族館・うみがたりのイルカ導入にあたって、ストレスの影響などを議論

してこなかったのか。

●総合事務所の宿

日直体制の変更でどうなったか検証してもらいたい、などの声が出て議論になりました。

上野市議の「ざっくばらんにトーク」には約40人が参加。私も参加者とのやりとりに参加しました。ここでは、

●年金生活者まで学校後援会費1000円払うのは納得できない。市の教育予算足りないのではないかと。

●図書館は市民の学びの場。公民館の図書室を改善してほしい。また、図書館の正規雇用は進んでいるか。



【ヒヨドリジョウゴ】ナス科の多年生植物。漢字で「鴨上戸」と書きます。ツル性の植物で、木や草にからまって伸び、小さな白い花を咲かせています。花は8月～9月。果実は秋、1センチ未満の赤い実をつけます。有毒です。花言葉は「真実」「期待」。

●犀潟駅の南口設置についてはどうなっているか。

●新型コロナウィルス対策。たいへんな思いをされている人に支援は行き届いているか。

●西ヶ窪から犀潟までの海岸道路は本来2車線なのに、砂で1車線しか通れないところがある。抜本的な対策を求めてほしい、などの発言が相次ぎ、意見交換させてもらいました。

出された意見は今後の議会活動に反映させ頑張ります。



上段は上野市議主催の会（希望館）、下段は大湊コミプラでの会



9月議会は2日にスタート

2020年9月議会審議日程（会議開始はいずれも午前10時）

日（曜）	会議	場所	備考
9月2日（水）	本会議	議場	議案提案・総括質疑
9月3日（木）	本会議	議場	総括質疑
9月4日（金）	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月7日（月）	農政建設委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月8日（火）	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月9日（水）	文教経済委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月10日（木）	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月11日（金）	厚生委員会	第1委員会室	付託案件審査
9月14日（月）	総務委員会	第1委員会室	橋爪出番
9月15日（火）	総務委員会	第1委員会室	橋爪出番
9月17日（木）	一般質問	議場	
9月18日（金）	一般質問	議場	
9月23日（水）	一般質問	議場	
9月24日（木）	一般質問	議場	
9月28日（月）	本会議	議場	議案採決

はしづめ法一の
活動レポート

No.1974 2020.8.30

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い 第六二一回 入道雲

青空に大きな白い入道雲。子どもの頃から夏の空を描くときのパターンは決まっています。それほど夏を象徴する風景となっていたのでしょね。

今年の夏は雨降りの日が多く、入道雲を見る機会はほとんどありませんでした。太陽がカッと照るような日もなかなか来ませんでした。それだけに代石神社の祭りがあった日の夕方、米山さんや尾神岳の上空に雲がモリモリと大きくなっていく様子が目に入ったときは少し興奮しました。

その日の夕方、私は用があって柿崎駅まで往復しました。駅に向かう時、百木を過ぎると、下黒川に至るまでは、右手方向に米山さんや尾神岳の姿が見えます。この二つの山の上空で雲が大きく広がっている様子が見えたときには、もうじっとしていられません。車を止め、カメラを取り出して雲の撮影を始めました。ただ、このときは電車の時間の関係で、一、二枚撮るだけでやめました。

柿崎駅から家に戻ってからは、家に入らず、隣の小苗代や下中条まで車を走らせました。

代石から小苗代地内に入っすぐの場所では、田んぼを挟んだ向かいの里山の上空で雲がどんどん発達していました。それも手前と奥の方の雲では色が違います。手前のものは灰色で、奥は白く、その上部は輝いていました。

風景写真を撮ったことのある人なら同じ体験をされたことがあると思うのですが、被写体が短時間に変化していく場合、なかなか撮影をやめることができなくなることがあります。

この日の夕方もそうでした。小苗代で入道雲を写真に撮り、車のところに移動しようとして空を見ると、写真を撮った時点よりも雲はさらに大きく盛り上がっている。またカメラを取り出し、写真に撮る。これ

を何度も繰り返しました。

五分くらい同じ場所にいたでしょうか。五、六枚撮ったところで、欲が出て、「この風景は尾神岳が見えるところで撮りたい」そう思いました。

下中条の撮影ポイントまでは車で三〇秒足らずです。到着して尾神岳方面を見たら、思っていた通りでした。尾神岳の標高の三倍くらいの高さにまで雲が大きく広がっている様子が見えたのです。ここ数年間に見た入道雲の中では最大規模だ、と私は思いました。

見事なのは高さだけではありません。米山さんの方にも、その反対方向にも雲の山ができて広がっていました。さらに面白かったのは雲の色が作りだす美しい景色です。私には、入道雲が発達して、ねぶたになったように見えました。「ねぶた」というのはあの、青森の「ねぶた」です。「らっせーらー、らっせーらー」という掛け声とともに笛や太鼓が鳴り、大型の「ねぶた」が進む、あのイメージです。

入道雲が出たときは雷が鳴り、土砂降りをもたらすことが多いのですが、私の場合、これまでそういうことにはつながりませんでした。今回もそうです。雷の音はせず、雨は降りませんでした。離れていたので当然と言えば当然なんです……。

この日、小苗代から下中条へ移動する時、散歩中の女性に会いました。「雲がすごくおっきくなって……。これから中条へ行って撮ろうと思ってね」と言っと、「橋爪さんは好奇心が強いんですね」と言われてしまいました。

私は三月に満七〇歳になりました。足腰が痛くなったり、目がしょぼしょぼしたりと明らかに加齢に伴う症状が出てきていますが、自然現象や動植物などを詳しく知りたいという意欲は旺盛です。やはり好奇心が強いのでしょうか。

「トイレは車イスでも使えるように」

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月19日(水)	8月26日(水)
上越南消防署	0.040	0.047
上越北消防署	0.040	0.053
新井消防署	0.047	0.043
頸北消防署	0.043	0.053
頸南消防署	0.060	0.063
東頸消防署	0.053	0.050
名立分遣所	0.050	0.053
高士分遣所	0.053	0.053



議会改革推進会議と女性議員との意見交換会が20日、初めて開催されました。

会では、7人の女性議員全員が発言しました。その主なものは、「子どもの初めての運動会への参加など、配慮があってもいいと思う」「授乳室、保育ルームは早急に整備を」「早く“女性だから”とか“男性だから”がなくなるといい」「女性トイレの手洗い場は車イス対応になっているが、トイレそのものがそうっていない」「議会は平日だけでなく、土日にも開催したらどう

か。そうすれば、傍聴に来れる人もいる」などです。貴重な意見がいくつもあって勉強になりました。



酒米・五百万石の収穫作業始まっています。(写真は23日、吉川区内)